



オリンピック・パラリンピックへの^{おも}想い

ちいろば^{かいり}会^じ理^き事^の 木^{わき}ノ^{えつろう}脇^{悦郎}

間もなく、2020東京大会が始まろうとしている(この文書が発行される頃は、既に始まっていることだと思うが…)。しかし、この複雑な心境は何だろうという思いにふけてしまう。何だろうな、オリンピックって、誰のために実施するのかな、オリンピックって、何のために開催するのかな、オリンピック・パラリンピックって。

今回東京で開催が決定し、コロナ禍で開催そのものに対して様々な慎重な意見あるいは反対意見がある中で、実施が決まり、開催に向かって動き出したのはどうしてだろうか。本当は、みんなが喜び、期待し、アスリートの活躍に胸躍らせ、ある時は残念と思い、ある時はよくやっとな興奮気味に友人や家族と語り合う国際的行事であるはずなのに。なんとなくしっくりこないのはなぜなのだろうかと考える。日本を含め、世界中がコロナウィルスの蔓延に悩まされ、ウイルスとの闘いを余儀なくされている中で、昨年は延期せざるを得なかった大会を今年はなんとか開催したいという思いが日本のオリンピック委員会をはじめ、関係団体やそれに関わっている人々の間に強くあったことも原因の一つであったかと思われる。しかし、コロナの感染者は増え続け、収束の見通しも立たない中で、「安心、安全を第一に、この大会がコロナに打ち勝った世界の証とする」と言う菅総理大臣の強い思いが医療関係者の心配や警告を押しつけて、大会開催への道を開いたとすれば、スポーツに対する政治の介入があったことになる。本来それはあってはならないことである。

スポーツは、本来人間の基本的身体的欲求の発露であろうし、またアスリートと呼ばれるようになった運動競技者の競争心の行きついたところに成り立つ競技といえるだろう。従って、基本的に個人的なものであり、団体競技であったとしても、それはその競技を共にしたいと願う個人の集まりによって成り立つきわめて個人的なものである。私たちスポーツの観戦を楽しむ人間は、競技に取り組む個人の力量や、それを生み出した尊い努力や鍛錬を尊敬の念をもって見ているのではないだろうか。古代のオリンピック競技はそのような精神と主旨をわきまえて実施されたものであったのではなかろうか。それは大変美しい素朴なものであったと言えるだろう。しかし、何事も時代と共に変化が余儀なくされる。

近代社会の発展とともに、国家が樹立され、国家を運営するための政治が様々な形をとって展開され始めると、その国家の中で行われる様々な行事に国の影がまわりつき始めるようになったのである。個人的な運動にしても、国家の栄光のため、国家の発展の証明、成績優秀なアスリートは国家の名誉。五輪大会が、そのような特殊な価値観によって経営され始めると、開催を引き受けた国家や政治が個人的な運動競技の在り方にまで影響を与え始める。今回の東京大会開催に至る経緯を見ると、やはりこれが運動競技の正しい姿なのだろうか疑問を呈したくなるのは自然な感情ではないだろうか。

個人の運動能力を極限まで高めてきた選手たちが力いっぱい活動し、正々堂々と戦える国際的な運動会というオリンピックの原点に返りたいものである。

『価値観のちがい』

ちいろば会事務長 和田 泰子

私はちいろば会で仕事を続けている中で、周期的に「組織って何なのか」とか「組織人とは」というワードを意識することがあります。とくに、職員の退職が続いた時や、自身の業務が事務方でひたすら一人で作業を進めていく中で達成感を共有できていないと感じた時は強く意識します。

というのも、本来退職する職員は他の職員に極力迷惑が掛からない形で退職するものだと思っているのですが、現状は、同じ業務を担当する他の職員に負担を掛ける場面がしばしば見受けられ、このような場面を目の当たりにすると、「同じ組織の仲間に対して何も感じないのか？」と問いかけたくなったり怒りさえも感じるがあります。また、仕事は本来仲間と切磋琢磨しながら進めていくものですが、ちいろば会の事業規模を考えると事務方は一人でも十分業務遂行できる事務量なので自分で考えて仕事を組み立てるのですが、やはり事務作業が集中する時期には周りとのコミュニケーションの機会が減り、長年組織に属していても自分は組織を構成する一員として組織の目標を共有した上で責務を果たしているのかと考えることもあります。

私が意識している組織で働く人が果たすべき責務は、まず、組織が掲げる理念や目標を共有することだと思います。職場で働く人それぞれの動機は、お金や名誉、人の役に立つ仕事がしたい等それぞれ異なるでしょう。しかし、給与を受け取っている限り、組織の目標達成のために働いているということは忘れてはいけません。また、共有した目標達成のために個人が与えられた役割を十分に果たすことも重要です。指示された仕事だけではなく、職員それぞれが全体を見渡して自分がやったほうが良いことを自発的に行うことだと思います。そして、組織で働く人が忘れてはいけない重要なポイントが、自ら成長し続けなければならないということです。組織は世代交代をしながら事業継承していくのですから、自分だけは成長したくないというわけにはいきません。終身雇用の崩壊など昨今の社会情勢を言い訳に、事業所が将来を保障してくれるとは限らないと言って自分の動機だけを優先するようでは困ります。少なくとも、現状の労働法等では事業所から簡単に雇用関係を解除することが出来にくくなっているのですから、将来の保障をしてくれない等と言うのではなく、自らの役割を主体的に見出し成長することが大切です。それを拒む人はただ組織にぶら下って組織の大切な資産を減らしているだけという捉え方をされることもあるかもしれません。

このように組織というものを組織に属する人が十分理解して意識できれば、当番業務や担当業務、そして後輩や周りの職員に対する適切な助言等も自分に与えられた役割と同様に必要な仕事だということがわかるのですが、この価値観がなかなか共有できていないのが現状のちいろば会です。

人は他人の価値観を決して否定できるものではありませんが、組織における組織の価値観は一人でも多くの職員が共有し個人プレーではなくチームプレーを心掛けることができればと思っています。



— ぼくも わたしも みんなが主役 しゅやく

- 質問① しつもん 名前と年齢は？ なまえ ねんれい
 質問② しつもん 家族にまつわるエピソードは？ かぞく
 質問③ しつもん 学校時代のエピソードは？ がっこうじだい
 質問④ しつもん 最近気になっていること、興味があることは？ さいきん き きょうみ



- ① いはら ゆか さい 井原 由夏 40歳です。
 ② いま かあ とう にん く 今は、お母さんとお父さんと3人で、暮らしています。
まめ おつきみ かぞく たの 豆まきやお月見、クリスマスを家族で楽しみます。いつも、七夕の短冊
をつくってくれるおじいちゃんが がつ な さみ をつくってくれるおじいちゃんが5月に亡くなり寂しいです。
 ③ かわい だいにしょうがっこう とし おとこ こ いえ あそ 河合第二小学校の時は、男の子がたくさん家に遊びにきてくれました。
おとな おとこ おとことも おうじ あ 大人になってからも、その当時の男 友だちと王寺で会々と
はな 話したりしていました。
 ④ いぬ ねこ だいす むかし きんじよ なまえ おお いぬ わたしは、犬や猫が大好きで、昔は近所のゴウという名前の大きな犬と
あそ いま 遊びました。今は、コーギーのももちゃんがわたしと会々と 喜びます。
いま いちばん き いちうと あんな こ 今、一番気になるのは、妹（杏奈）の子ども（杏ちゃん）です。
あん す わる 杏ちゃんはバイキンマンが好きで、悪さもよくします。
あん はなし たの スマホで杏ちゃんと話 するのも楽しみです。



- ① よしおかか な さい 吉岡佳菜です。25歳です。
 ② にい にん く パパ、ママ、じいちゃん、ばあちゃん、兄ちゃんの6人で暮らしています。
ねんほどまえ あわじしま りようこ い じいちゃん、ばあちゃんと4年程前に淡路島へ旅行に行ったことです。
たの 楽しかったです。
かぞく がいしよく たの 家族みんなで外食するのが楽しみです。今はコロナで行けなくて残念です。
 ③ さんごうしょうがっこう せい いわようごがっこうちゅうがくぶ せい いわようごがっこうこうとうぶ 三郷小学校、西和養護学校中学部、西和養護学校高等部です。
ぶん かさい うんどうかい しゅうがくりようこ たの 文化祭、運動会、修学旅行 楽しかったです。いつもはりきって参加していました。
 ④ えいが す ドラえもん、ポケモン… 映画が好きです。
えん あたら す ちいしば園で、新しいしごとがんばっています。パズルも好きです。

2020年度の主な事業報告

社会福祉法人ちいろば会

【事業報告】

<ちいろば園> (生活介護) 定員58名、年間稼働日数250日

① 利用者の状況

登録者数51名 (3月末現在)

一日平均利用 48.0名 前年比 -1.5名、年間平均稼働率82.7% 前年比 -2.6%

② 作業活動

作業活動による年間売上 7,998,271円 前年比 -20.0% (-1,989,133円)

利用者平均工賃 6,065円/月 前年比 -640円/月 40円/時 前年比 -10円/時

<ちいろば生活支援センター> (特定相談支援)

本法人サービス利用者に限って実施している。

<にぬふあ星> (共同生活援助) 定員20名、現員 20名 (3月末現在)

・にぬふあ星 定員6名 — 現員 6名 2月1名退居、1名入居

・エンゼルハウス 定員5名 — 現員 5名

・ユイマールⅠ 定員2名 — 現員 2名 6月1名退居9月よりサテライトへ変更

・ユイマールⅡ 定員2名 — 現員 1名

・日之出荘 定員6名 — 現員 6名

・すみれ荘 定員4名 — 3月末竣工 4月より事業開始予定

【研修会等】

・初任者研修 2020年11月10日、2021年2月2日

・夏季法人研修 2020年8月8日 在日朝鮮人差別に学ぶⅠ

講師：劇団タルオルム 主宰 金 民樹氏

・冬季法人研修 2021年1月16日 在日朝鮮人差別に学ぶⅡ

ビデオ鑑賞 「アイたちの学校」「蒼色のシンフォニー」

・春季法人研修 2021年3月19日 法人内事業報告会

・毎月1回職員勉強会 ちいろば園 : 毎月最終木曜日17:00~18:00

グループホーム : 毎月第4金曜日11:00~12:00

【苦情申立、虐待報告と事故・ヒヤリ報告】

1. 苦情申立て

・商品を購入いただいたお客様 (利用者家族) から納品期日に対する苦情 1件

2. 虐待報告

当年度中に虐待と認定すべき事案は発生していません。

・権利擁護委員会の開催状況

2020年6月22日、10月19日、2021年2月25日 年3回開催

3. 事故・ヒヤリ報告

・利用者の所在不明 3件 ・利用者の服薬確認漏れ 1件

・利用者による設備破損 1件 ・利用者のケガ (骨折) 1件

ねんどけいさんしよるい
2020年度計算書類

第一号第一様式

第二号第一様式

法人単位資金収支計算書

(自) 2020 年 4 月 1 日 (至) 2021 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入			
就労支援事業収入	5,901,000	4,955,941	945,059
障害福祉サービス等事業収入	186,935,000	174,271,931	12,663,069
借入金利息補助金収入	26,000	25,300	700
経常経費寄附金収入	352,000	335,500	16,500
受取利息配当金収入	14,000	7,421	6,579
その他の収入	981,000	974,442	6,558
事業活動収入計(1)	194,209,000	180,570,535	13,638,465
支出			
人件費支出	132,223,000	127,700,809	4,522,191
事業費支出	16,288,000	15,395,404	892,596
事務費支出	17,027,000	15,858,389	1,168,611
就労支援事業支出	9,130,000	8,020,093	1,109,907
支払利息支出	70,000	69,000	1,000
その他の支出	457,000	440,250	16,750
事業活動支出計(2)	175,195,000	167,483,945	7,711,055
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	19,014,000	13,086,590	5,927,410
施設整備等収入			
施設整備等補助金収入	900,000	390,500	509,500
設備資金借入金収入	20,000,000	20,000,000	0
固定資産売却収入	500,000	500,000	0
施設整備等収入計(4)	21,400,000	20,890,500	509,500
設備資金借入金元金償還支出	1,150,000	1,150,000	0
施設整備等支出計(5)	49,150,000	49,093,800	56,200
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 27,750,000	△ 28,203,300	453,300
収 入			
固定資産売却収入	25,344,000	22,965,839	2,378,161
その他の活動収入計(7)	25,344,000	22,965,839	2,378,161
支出			
固定資産支出	8,000	5,653	2,347
その他の活動支出計(8)	8,000	5,653	2,347
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	25,336,000	22,960,186	2,375,814
予備費支出(10)	0	—	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	16,600,000	7,843,476	8,756,524
前期末支払資金残高(12)	109,566,335	109,566,335	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	126,166,335	117,409,811	8,756,524

法人単位事業活動計算書

(自) 2020 年 4 月 1 日 (至) 2021 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収入			
就労支援事業収入	4,955,941	6,985,154	△ 2,029,213
障害福祉サービス等事業収入	174,271,931	162,469,616	11,802,315
経常経費寄附金収入	335,500	166,500	169,000
サービス活動収益計(1)	179,563,372	169,621,270	9,942,102
人件費	126,869,121	122,958,634	3,910,487
事業費	15,395,404	16,106,848	△ 711,444
事務費	15,858,389	14,148,840	1,709,549
就労支援事業費用	7,998,271	9,870,404	△ 1,872,133
減価償却費	17,832,406	19,439,401	△ 1,606,995
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 3,882,200	△ 4,230,503	348,303
サービス活動費用計(2)	180,071,391	178,293,624	1,777,767
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 508,019	△ 8,672,354	8,164,335
収入			
借入金利息補助金収益	25,300	36,750	△ 11,450
受取利息配当金収益	7,421	7,636	△ 215
その他のサービス活動外収益	974,442	1,006,290	△ 31,848
サービス活動外収益計(4)	1,007,163	1,050,676	△ 43,513
支払利息	69,000	116,208	△ 47,208
その他のサービス活動外費用	440,250	440,750	△ 500
サービス活動外費用計(5)	509,250	556,958	△ 47,708
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	497,913	493,718	4,195
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 10,106	△ 8,178,636	8,168,530
施設整備等補助金収益	390,500	0	390,500
特別収益計(8)	390,500	0	390,500
固定資産売却損・処分損	1	15	△ 14
国庫補助金等特別積立金積立額	390,500	0	390,500
特別費用計(9)	390,501	15	390,486
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1	△ 15	14
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 10,107	△ 8,178,651	8,168,544
前期繰越活動増減差額(12)	169,867,004	178,051,974	△ 8,184,970
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	169,856,897	169,873,323	△ 16,426
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	22,965,839	0	22,965,839
その他の積立金積立額(16)	4,602	6,319	△ 1,717
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	192,818,134	169,867,004	22,951,130

法人単位貸借対照表

2021年3月31日現在

第三号第一様式

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	130,496,576	120,668,529	9,828,047	流動負債	21,571,655	17,586,774	3,984,881
現金預金	101,503,166	93,910,262	7,592,904	事業未払金	12,888,172	10,974,892	1,913,280
有価証券	10,000	10,000	0	1年以内返済予定設備資金借入金	3,154,000	1,150,000	2,004,000
事業未収金	27,856,836	25,895,968	1,960,868	預り金	11,996	6,330	5,666
原材料	52,176	30,354	21,822	職員預り金	134,421	90,618	43,803
立替金	3,112	6,617	△ 3,505	賞与引当金	5,383,066	5,364,934	18,132
前払金	1,071,286	815,328	255,958				
固定資産	364,645,380	357,994,173	6,651,207	固定負債	33,409,730	17,413,550	15,996,180
基本財産	236,268,885	250,110,664	△ 13,841,779	設備資金借入金	20,296,000	3,450,000	16,846,000
土地	48,887,479	48,887,479	0	退職給付引当金	13,113,730	13,963,550	△ 849,820
建物	187,381,406	201,223,185	△ 13,841,779	負債の部合計	54,981,385	35,000,324	19,981,061
その他の固定資産	128,376,495	107,883,509	20,492,986				
土地	32,063,071	32,063,071	0	純資産の部			
建物	44,704,135	2,350,988	42,353,147	基本金	143,697,930	143,697,930	0
構築物	2,480,936	1,132,323	1,348,613	国庫補助金等特別積立金	73,463,924	76,955,624	△ 3,491,700
機械及び装置	380,051	245,296	134,755	その他の積立金	30,180,583	53,141,820	△ 22,961,237
車両運搬具	7	626,774	△ 626,767	工賃変動積立金	124,569	124,569	0
器具及び備品	6,336,364	6,226,276	110,088	人件費積立金	5,506,080	5,505,529	551
建設仮勘定	0	500,000	△ 500,000	施設・設備整備積立金	24,549,934	47,511,722	△ 22,961,788
権利	1,732,927	1,099,591	633,336	次期繰越活動増減差額	192,818,134	169,867,004	22,951,130
工賃変動積立資産	124,569	0	124,569	(うち当期活動増減差額)	△ 10,107	△ 8,178,651	8,168,544
人件費積立資産	5,506,080	5,505,529	551				
退職積立資産	10,498,421	10,497,370	1,051	純資産の部合計	440,160,571	443,662,378	△ 3,501,807
施設・設備整備積立資産	24,549,934	47,511,722	△ 22,961,788	負債及び純資産の部合計	495,141,956	478,662,702	16,479,254
資産の部合計	495,141,956	478,662,702	16,479,254				

※ しめん つごうじょう じぎょうほうこく かんりや ばん けいさんしよるい じょうき さんしゅ けいさい
紙面の都合上、事業報告は簡略版、計算書類は上記の三種のみを掲載しています。
じぎょう ほうこく ぜんぶん けいさんしよるい ほんほうじん こうかい
事業報告の全文、すべての計算書類は本法人のホームページにて公開しています。

ホームページアドレスは <https://www.chiiroba.or.jp/>の[情報 公開]よりご覧ください。

おんせんうけつけぎょうむ
—温泉受付業務について—

ちいろば園職員 えんしよくいん かさいそう た 笠井草太

ちいろば園では三郷町から業務委託を受け、町内の高齢者が利用できる老人福祉センターにある温泉の受付業務を行っています。職員が行うのは基本的に送迎と最低限の確認のみで利用者さんだけがそこに残り取り組んでいます。

そして新たに4月から入館者に対して行う「検温」の業務を任されることになりました。今まで経験のない作業をどう工夫すれば利用者さんのみの

力で行えるか、頭を悩ませました。上司と相談しながら、できる限り

みんなにとってわかりやすい手順表、道具を用意し、練習を経て、いざ

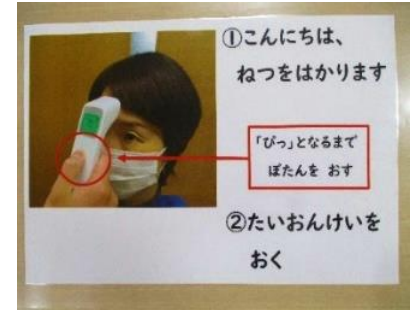
実践。無事に業務を終えて帰ってきた利用者さんの姿は誇らしげに感じま

した。利用者みなさんがより活躍できるための合理的配慮を考えるのは難しく、夜な夜な悩むこともあり

ますが、「こんなのはどうだろう」「こんな道具は？」と考えるのが、実は楽しかったりします。もちろん、作

って終わりではないので、実践後のモニタリングを行い、さらなる改善を見つけていく必要があります。「温泉

受付業務」の現状に満足せず、担当としてより多くの利用者さんの可能性を広げていきたいです。



せや しせつ と い れ せいそう
—勢野グランド施設トイレ清掃について—

ちいろば園職員 えんしよくいん たまのこうじろう 玉野康二郎

この日は皆さんの足取りも心なしか軽やかな気がします。三郷町から業務委託で頂いている、勢野グランド施設トイレの道中の話です(写真①)。ちいろば園から約100メートルに勢野グランド施設トイレがあります。

私が担当する軽作業2階グループでは、作業室内での内職が主です。ちいろば園から出て、勢野グランド施設トイレまで徒歩で移動することがいい気分転換になるのだと思います。

写真②では、清掃するべき場所が良くわかるように、色付きの洗剤を使用しているところです。

色が消えてなくなるまでこすれば、洗面台はピカピカになります。

当初メンバーのTさん用に使用していた色付き洗剤ですが、色が着いている方が、他のメンバーさんにも分かりやすいので、共通のトイレ用洗剤として使っているところだと思います(写真③)。

写真④は、掃除を行っている手にしっかりと力が伝わるように、もう片方の手で手すりを握り、作業を行っているところです。

利用者の皆様が、主体的に作業に取り組めるよう、様々な工夫が必要です。うまくいくこともあれば、

うまくいかないこともあります。これからも利用者さんと一緒に試行錯誤を繰り返しながらも、

楽しく作業を行っています。きれいなトイレを維持し、地域の皆様に喜んで頂ければ幸いです。



写真①



写真②



写真③



写真④

「健康管理について」

グループホーム職員 辰己浩規

グループホームでの健康管理について、基本的な事はちいろば園とも共通していると思うのですが、まず朝起きて来られた時の表情や顔色を伺い検温をする。帰宅された時もまず表情を観て、それから手洗い・うがい・消毒をしてもらうようにしています。他にも食事はしっかり摂れているか？水分は摂れているか？などなど……。普段の様子をしっかりと観察できているかが大切だと思います。何かあった時、観察をしっかりとしていれば『いつもと何かちょっと違う』という事に気づき、そこから体調不良なのか、どこかケガしているのか、などより注意して観ていけるからです。そしてその時何もなくても必ず支援者間で情報共有する事が大事になってきます。毎日同じ支援者が入るわけではないので情報共有する事で他の支援者も意識して観察できるし、何かあった時の対応もスムーズに出来るのではと思います。

また、対応の仕方もマニュアルで決まっています。【感染症対策マニュアル】、【緊急事故への対応マニュアル】などがあり、それらもしっかり把握しておく事も重要です。私自身の課題として(世話人という立場で)そのマニュアルをもう一度しっかり確認しないといけないのと他の支援者にもマニュアルを把握してもらえよう伝えていかなければならないと思っています。何かあった時もマニュアルに沿って行動をとる事が出来れば冷静に対応する事ができると思います。

特に昨年は『新型コロナウイルス』の感染症対策でいろいろな悩みはありました。食事は時間をずらした方が良いのか？アクリル板を立てた方が良いのか？良い換気の方法は？

ニュースや情報番組を見ていてもどれが正解なのかとても悩みました。私の知人もある日突然遺骨になって帰ってきた人もいます。身近でそんな事があると、徹底した対策をした方がいいのではと思う事もありました。いろいろ考えているととても疲れました。そして出た答えは『与えられた環境で出来る事を精一杯やろう(基本的な事をしっかりやろう)』という事でした。『そしてその中でも出来るだけ楽しもう』という事でした。

今のところ、ちいろば会では感染者もなくみんな元気に過ごしています。しかし先の見えないゴールに向かっていつまでこの生活が続くのか、知的な遅れがある利用者の方は私達以上に不安を抱えていると思います。ストレスもかなりあるはずですが、そのような些細な心の変化に気づく事も

支援者にとって重要な事だと私は思います。

今まで通りの生活が難しい中、少しでもストレスを軽減でき少しでも楽しみが見出せるような取り組みも考える必要があると思います。

利用者の方の暮らしを支えていく上で日々の気づきが大切です。

正直まだまだ不十分な『気づき力』を伸ばしていけるよう

支援者間で取り組み、利用者の健康と豊かな生活を支えていける

よう取り組んでいきたいです。

4月、近くの神社に散歩に行った時桜がきれいだったので花見をしました。



☆後援会費・ちいろばだより年間購読料 (2021年4月1日～2021年5月31日)

ご協力ありがとうございます。

篠原範子、岡山定男、北飯史子、東千晶・直輝、大和高田育成福祉会、鈴木莉子、平山恵理、
特定非営利活動法人ポエム、濱野由利子、新谷貴雄、松本健一、小倉奈々、清水靖子、
木下好司、柏田勝幸、石川三津枝、対尾一成、橋本勝利、松村國隆・明子、本圓喜代美、
網 時子、木ノ協悦郎

以上 敬称は略させていただきます

※ ちいろばだより年間購読料は、500円/年です。

※ 前号において、年間購読料の記載がなく、ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

第26回 ピープルファースト大会 IN 兵庫

7月18日 (日)

今年はコロナ禍で、オンラインでの開催となりました。
ちいろば園からは、当事者10名、支援者3名で、ちいろ
ば園の食堂にテレビを持ち込んでの参加となりました。
1年間の延期のうえ、オンラインでの開催とはじめて
のこと続きで、兵庫のみなさんお疲れさまでした。



二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会

年 6 回発行 頒価 50 円

連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北 5-6-14

TEL : 0745-72-1923 FAX : 0745-72-1924

発行人／ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 F